

だれもが安心して、その人らしく

「働き」「暮らせる」社会に



仲間の工賃・ボーナスをまもるために

目標150万円の「ひろがれ募金」に

皆様のご協力を心よりお願い申し上げます

ワークハウス40周年、まんまん堂20周年を迎えた今後

平素より、京都ワークハウス後援会の活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

下京ワークハウスから始まったわたしたちの事業所は、一昨年40周年を迎え、昨年はまんまん堂のオープンより20周年を迎えることができました。

この数年、新型コロナウイルス感染症の猛威に耐えてきましたが、5類に移行したことで、一時的に中止してきた事業、取り組みの再開をできています。それでも完全になくならない感染症への対策を講じながらの日常は、まだまだ不安でいっぱいですが、メイン事業である「まんまん堂」や「咲あん」の喫茶事業のお客様が少しずつ戻ってきています！蒸しmanın出店販売も増え、売り上げが回復の兆しです！

その一方、インボイス制度、物価高騰に加え、40年、20年とそれぞれ続けてきたワークハウス、まんまん堂・厨房の設備に修繕を必要とするものが増え、より一層厳しい経営状況です。配達やお出かけなどの移動に使う車、蒸しmanın製造や提供するカフェの設備を整え、みんなが働きやすい魅力ある職場にして工賃アップ、報酬アップを目指します。

仲間のボーナス！「働く場」「暮らしの場」の施設の運営をまもるために

コロナが2類の時の、工賃への補助や工賃と連動する報酬制度のしくみの経過措置は、5類になったことでなくなりました。工賃の平均実績がワンランク下がると報酬（日割り）も下がり、年間100万以上の減収となります。

『障害者権利条約』が謳う「全ての障害者が他の者と平等の選択の機会をもって地域社会で生活する平等の権利を有する」地域を着実に実現するために、わたしたち後援会は、今の報酬制度の抜本的な見直しや国・自治体の施策の充実を求める運動を、きょうされんとともに粘り強く取り組むと同時に、**仲間の工賃・ボーナスを護り、施設の運営を護る「ひろがれ募金」**を引き続き取り組みをすすめます。コロナ対策も引き続き行いながらの取り組みが求められています。

趣旨にご賛同いただき、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

募金方法

- 現金 募金袋にお名前・募金額の記入（※恐れ入りますが、ご担当者様にて集約お願い致します）
- 振込用紙 『 1口 1000円 』（何口でも）でのお振込みをお願い致します。

振込手数料は窓口、ATM等その仕方によって変わります。ご注意ください。

2025年 6月

社会福祉法人京都ワークハウス

京都ワークハウス後援会